

武田家悲劇の谷・日川を歩く冬の日だまり山行
源次郎岳

実施日 2016年2月21日(日)
 天候 快晴
 リーダー 伊藤久雄
 参加者 伊藤久雄、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、白石恵美子、石附智恵、遠井謙策、渋谷京子、柴田正喜、宇野輝代、小名秀鋭、佐藤誠司、瀧澤きよの、白石佐恵、宮崎敏男 計15名
 費用 JR1,940円(高尾起算)
 車1,000円 計2,940円
 タイム 甲斐大和(9:10~)嵯峨塩温泉(9:30~9:35)杣坂峠(10:15~10:25)源次郎岳(11:10~12:10昼食)杣坂峠(13:00)嵯峨塩温泉(13:25)竜門峡遊歩道入口(14:15)平戸の門(14:35)竜門橋(15:10)

前日は全国的に大荒れの天気でしたが低気圧の速度が速くあっという間に過ぎ去り今日は風もなく穏やかな一日となった。

甲斐大和駅からタクシーで嵯峨塩温泉へのバス停脇の「源次郎岳入口」の小さな立札が立っている所から歩き始める。



いきなり傾斜の息を弾ませながら登る。やがて開けたカラマツやブナ、ミズナラの生い茂る林に出る。すっかり葉も落とし暖かい日差しが注ぐ林の中をお喋りをしながらのんびりと行く。

林の切れ間から陽光を浴び輝く雪をまとった富士山が真の姿を現す。冬見る富士山がやはり一番綺麗だ。



しばらく登ると杣坂峠の有る林道に出る。少し休憩を取った後源次郎岳を目指す。道の分かりにくいだっ広い尾根を赤いテープの目印を見失わないように注

意をしながら進む。下日川峠分岐の標識を左に行き少し登り返すと今日一番高い1530mに着く。此処からは今までののんびり登山とは一変しアイドが切れ落ちた痩せ尾根の急登降を繰り返す。



昨日の雨の影響か滑りやすい所もあり緊張させられる。最後のロープ場を登りきり少し行くと目の前に広い開けた広場が現れる。富士山、南アルプス、大菩薩、奥秩父、八ヶ岳等の山々の絶景が現れる。風もなく日差しも暖かく素晴らしい景色を眺めながらのランチタイムとなった。

沢山の差し入れもありは至福のひと時を過ごした。



1時間程のんびりと過ごした後来た道を引き返す。滑りやすいロープ場、数回急登降を無事やり過ぎ下日川峠分岐、杣坂峠、源次郎岳入口と無事に下山をした。

そこから暫く「竜門峡遊歩道入口」の標識がある所まで車道を歩く。車道の脇に標識がありそこを下って行くと日川溪谷に出る。奇岩の「平戸の門」をくぐり抜け竹林を通り今はすっかり葉を落としクマシデ、サワシバ、イヌブナ、カエデなどの広葉樹が増え水音を聞きながら川の音が岩の間を歩き幾つかの橋を渡りアップダウンを繰り返して竜門橋にたどり着く。

そこからタクシーを呼び甲斐大和駅まで行き帰宅の途に着いた。アイゼン、防寒着を用意したが雪もなく春のようになり正に冬の日だまり山行となった。仲間が病気に急きょリーダーを引受け至らない所が多々有ったと思いましたが皆さんのご協力により楽しい山行が出来ました。I Kさん元気になったら又一緒に山に行きましょう。皆さんありがとうございました。



(記&写真・伊藤 久雄)

